

---

# プロジェクト詳細

## マラウイ

---



## マラウイ

「マラウイ」の名の由来は、「マラヴィ」（光の光線／揺らめく炎）からきています。マラヴィ帝国は、16世紀にチェワ族によって建国されました。彼らはルバ族（コンゴ民主共和国南東部に居住する黒人族）の分派で、鉄の労働者でした。

マラウイは、南東部アフリカにある内陸国で、国境をタンザニア／モザンビーク／ザンビアと接しています。北には、NyikaとVwanza台地が起伏する丘と、ゴツゴツした高知があります。南側では、Great African Rift Valleyの一部を形成する急な傾斜地が横切り、Shire Valleyの低地が横たわっています。国の目玉は、マラウイ湖です。それはまるで内海の様で、終わらないヤシに周囲を囲まれた浜辺を楽しむことができます。また、マラウイは、急な山にも囲まれた国です。これらマラウイの自然は、マラウイを訪れる観光客の人気の観光名所となります。

マラウイは、1964年7月6日に、イギリスから完全独立を果たしました。独立から2年後、マラウイは共和制憲法を採用して、バンダ博士が一党制政治を開始しました。1971年には、バンダ博士は彼の力を強化して、マラウイの初代大統領に就任しました。



### ○マラウイについて

No.	説明	量
1.	人口	1190万人 (UN2002)
2.	面積	118 500 Km <sup>2</sup>
3.	平均寿命	40歳 (UN 2000-2005)
4.	成人識字率	62.7% (男性 76.1 ; 女性 49.8% - 2003)
5.	初等教育の就学率	81% (2000-2001)
6.	5歳以下の乳児死亡率	330/1000
7.	HIV/AIDS 流行	14.2%
8.	国連人間開発指数	162位
9.	孤児	100万人以上

---

## チャイルド・エイド (Child Aid) プロジェクト

---

マラウイのチャイルド・エイドプロジェクトは、Lilongwe (マラウイの首都) から30km北東にあるChiwambaという地区を中心に、活動を行っています。このプロジェクトは、2000年10月に開始しました。

活動目的；

1. Chiwamba 地区の 14,000 人の子供たちの健康／食糧安全／教育と生活状況の改善と向上をはかる。
2. 幼稚園の運営／孤児支援／予防可能な病気の減少／栄養失調の防止／収入創出活動の促進／水と衛生設備 (ポンプ／トイレなど設置) の開発活動の達成。
3. 両親の経済状況の改善と向上を促進する活動を行うことで、子供たちの生活状況の改善と向上をはかる。

具体的な活動例；

1. 収入創出活動の促進  
子供たちの両親の経済状況を改善／向上するために、いくつかの収入創出活動を開始しました。  
収入創出活動を開始するにあたり、活動のリーダーとして、コミュニティのリーダーとチーフを指名しました。アフリカ社会では、コミュニティにおけるリーダーとチーフがコミュニティの人々に与える影響はとて大きく、彼らにとって重要な人物にあたります。したがって、このことは、自然とコミュニティの人々に、これらの活動に参加する動機を与えました。

主な収入創出活動；

- 1) 回転融資基金の開始  
メンバーの一部は、見込みのある収入創出活動に資金を使用して、ローンをすでに返還しました。

2) ベーキング・クラブの結成

収入創出活動の1つとして、ロールパンを焼いて、地元のコミュニティでそれを販売します。

2. 予防可能な病気の減少

1) ボランティア・カウンセリング／テストセンターを設立

ここでは、HIV/AIDS テストとカウンセリングが行われ、看護婦はセンターから提供される一般公共医療の担当です。

これらが設立される以前、Chiwamba コミュニティの人々は公共医療を得るために、30km 先のリロングウェへ赴いていました。

2) 末期患者のための「ホームベース・ケア」プログラムを実行

3) HIV/AIDS の予防と感染増加の防止のために、「オープン・デイ」を実行

HIV/AIDS の予防と感染増加の防止の意識を高めてもらうことが目的です。まず、HIV 陽性であることを識別するために、コミュニティの人々に HIV テストについて教えます。そしてまた、コミュニティでは、HIV 感染者の人々が中心になって形成される、「Positive Living Clubs」の活動を積極的に促進しています。



### 3. 公衆衛生キャンペーン

この活動は、地区中で開催され、コミュニティのチーフとリーダーが最前線で活躍します。チーフは、実用的な公衆衛生活動をコミュニティの人々の家の周りで行います。また、プロジェクトと健康管理部の Health Surveillance のスタッフも同時に、実用的な公衆衛生活動を行います。

### 4. 幼稚園の運営

チャイルド・エイドは、コミュニティのサポートとともに、31の幼稚園を運営しています。これらの幼稚園では、子供たちの病気の対策プログラムが取り入れられています。

#### 1) 食事の提供

幼稚園では、トウモロコシの小麦粉と大豆の混合物から作られる、栄養価の高い「オートミールがゆ」が提供されます。

#### 2) ミーティングの実行

幼稚園では、両親とコミュニティのリーダーとのミーティングが実行されます。ミーティングでは、幼稚園の問題／幼稚園運営方法の改善と向上について論議されます。

### 3) チャイルド・ベース・ケアセンターの運営

いくつかの村には、「チャイルド・ベース・ケアセンター」があります。ここでは、コミュニティへの貢献として、1~6才の子供たちの体重計測を行っています。

### 4) クラブの結成

このクラブでは、若者と子供たちが HIV/AIDS 活動を行います。彼らは、HIV/AIDS 認識キャンペーンなどの場で、演劇／スピーチ／ダンスと詩を通して、HIV/AIDS の知識／予防方法などを多くの人々に伝えていきます。

### 5. 孤児支援活動

#### 1) 資金調達活動

必要に応じて、コミュニティの孤児のために資金調達活動を行います。収集された資金は、孤児の服と基本的な必需品の購入に遣われます。

また、Lilongwe の主なチェーン店で「募金箱」を設置し、孤児を支援するための資金を収集します。

#### 2) 登録制度の促進

Chiwamba 地区の孤児を特定に、孤児登録を行うためのサポートを行います。





## 6. 教育の改善と向上

12の小学校は、プロジェクトが運営する「教育プログラム」に参加します。

- 1) 両親が子供たちを学校へ通わせる活動の奨励
- 2) 大人たちの読み書きクラス

このクラスは、大人たちに教育の機会を与えるために設立されました。このクラスで得られる基礎教育は、結果的に彼らの収入創出活動の運営を支え、家族にもプラスとなります。

## 7. 環境活動

子供と大人たちは、環境を大切にする方法を教えられ、苗床と植林活動がコミュニティを通して行われます。コミュニティでは、薪用に伐採されて失われた木のかわりに、植林活動を行うことが奨励されています。また、コレラなどの病気を予防するために、コミュニティ周囲の環境をきれいに保つキャンペーンにも、携わります。

その他にも、Chiwamba 地区のチャイルド・エイドは、貧困と戦い、食糧安全を提供する方法として、コミュニティによって使用される、様々な作物を植える 14 の計画を立てました。これらの計画のうちの 6 つは、灌漑です。

また、家族によって運営される 10 の食糧安全収入創出活動が、この地区で設立されました。



---

## 小学校教員養成 (Teacher Training College) プロジェクト

---

マラウイの小学校教員養成学校は、Blantyre (マラウイ南部の大都市) から少し離れた農村地区にあり、2002年に設立されました。

このプロジェクトは、1994年に小学校教育の無料制度の導入後、資格ある地方小学校教員の必要に応じた結果、設立されました。2003年には初のチームが開始し、現在、新たな場所にも学校を設立するなど、活発的な活動を行っています。

また、学校は、スポーツと会議施設を周囲のコミュニティに提供したり、250人のコミュニティの人々を対象に、午後4~6時間、特別クラスを設けています。

教員養成学校のプログラムについて：

このプロジェクトは、現地の小学校教師を養成することが目的です。学校でのプログラムは、学生と子供が中心となる、主体的な学習／教育方法が採られています。この教育方法を採ることで、指導力があり、革新的で創造的な教師を養成することが可能だからです。また、これらの能力をそなえた彼らが教員になるということは、小学校とコミュニティに進展を引き起こすことができることを意味しています。

Development Instructors (開発インストラクター。ボランティア) は、学校のコミュニティの一部です。彼らは夕方プログラムと英語コースを受け持ちます。これら多くのインターナショナル・ボランティアは、コミュニティに幼稚園を設立し、いずれ先生となる学生をトレーニングし、教材の開発にも携わります。

学生のトレーニング・プログラム；

学生のトレーニングプログラムは2年間で、8つの期間に分けられます。

### 1. 世界について

世界について基本的なことを学習するこ

とで、国際的感覚を養います。学生はコース、研究作業と実験、調査を行い、紛争と戦争、HIV/AIDS、開発と貧困などの、現代の問題について学習します。

### 2. 私たちの国「マラウイ」について

フィールドワークと異なる地方の文化や歴史の情報を入手することで、祖国であるマラウイについて学習します。

### 3. 学校で建築作業を行い、技術を習得

学校で建物の修復作業を行うか、新しい建物を建設します。建設経験は、地方の学校での建設作業に備えて、学生にとって不可欠な経験となります。

### 4. 教授法の習得と研究学習

理論と実行を同時に行うため、学生は、近隣の小学校で半日、教鞭をもち、残りの半分を自分が必要な学習のために使用します。

### 5. 専門／憲章学習

### 6. 教育実習

11ヵ月間の教育実習を行います。この期間では、教育実習の重要な部分として、コミュニティ開発のイニシアティブを執ることも求められます。

### 7. ワークショップ

### 8. 卒業試験





---

## HIV/AIDS 予防／撲滅運動 (HOPE) プロジェクト

---

HOPE プロジェクトは、当時の HIV/AIDS 流行の問題への対策として、1998 年に確立されました。マラウイでは、Blantyre/Lilongwe /Chiradzulu の地域で、このプロジェクトが運営されています。

活動目的；

1. 人々が自分の行為を変えて、感染の危険にさらされることがなく、HIV の新たな感染がないこと。
2. コミュニティ／仕事場／学校／教会／マーケット／スポーツクラブ／共有地などの場所でプロジェクト活動を運営する。それにより、AIDS 蔓延の防止と HIV 感染者の人々のサポートを提供し、孤児と家族のために、AIDS で瀕死の状況にある人々の世話をする。
3. 大部分の人々は HIV テストを行い、自分が陽性か陰性かについての結果を知っているため、HIV 感染者が、HIV と向き合っていく方法を見つけていく。

具体的な活動例；

- 1) HOPE は、HIV に感染している／AIDS に影響を受けている人々に対して、行動を起こします。
- 2) みんなが一体となって、HIV/AIDS の蔓延を止め、サービス／ケアを提供する。
- 3) この活動の一部である多くの人々が、HOPE の全ての活動地域で、新しい感染率に決定的な影響を与えます。なぜならば、このプロジェクトの目的が、3 年間の活動期間で、新しい感染率を既存レベルの半分に下げることだからです。  
マラウイの HOPE は、都市と地方地域において、HIV/AIDS サービスを提供し、HIV に感染し、AIDS の影響を受けている人々に対する支持を強化することを目指します。

これには、主に 5 つの指標があります；

- 1) 接触とトレーニング  
HIV/AIDS についての情報提供／教育とコミュニケーション。
- 2) 健康サービス
- 3) 意見形成活動
- 4) オペレーショナルリサーチ
- 5) 援助活動



---

## 職業訓練学校 (Vocational School) プロジェクト

---

マラウイの職業訓練学校は、1997年にマラウイ政府の「貧困と戦う」という訴えから設立されました。この学校は、Mikolongweに設立され、国の開発に貢献するために、青年に対して、必要な技術と企業家精神をトレーニングするのが目的です。

この学校は、資金不足のために教育を続けることができない若い男性と女性と、就職に必要な技術力が欠如しているために、職業を得ることができない人々を対象に、トレーニングを行います。具体的には、会計／建築／熱帯農業／大工仕事／建具職などの、就職に有利な技術のトレーニングを行います。

また、カリキュラムには、HIV/AIDS 認識プログラムがあり、酪農業の分野では、研究開発プログラムを実行しています。これは、国の経済を促進する可能性があります。

職業訓練学校には、80人のフルタイムの学生と100人以上のショートタイム・コースの学生が居ます。ショートタイム・コースは、インフォーマル部門で、企業家精神を習得する人々のためです。正式プログラムの他にも、非公式の「技術開発イニシアティブ・プログラム」を **Technical Entrepreneurial Vocational Education and Training (TEVET)** と協力して運営しています。この非公式のプログラムは、インフォーマル部門で生活し働いている人々の技術を向上することが目的です。これらの人々は、一度も正式なトレーニングを受けたことがないですが、彼らは両親から技術を受け継ぎました。

TEVETは、政府が技術的・職業的トレーニングを促進し、改善することを目的に運営する部門です。技術開発イニシアティブ・プログラムは、技術／教育／お金がない元ストリートチルドレンを訓練しています。子供たちは、1ヵ月間、仕立職／レンガ工事／ブリキ屋で訓練されます。卒業の後、これらの子供たちは、自分達だけで働き始めます。

学生は、彼らのトレーニングの一部として、産業インターンを行います。配属される学生は、設立された会社でそれぞれ異なる仕事を始めます。2003年に産業インターンを行った学生の95%は、2004年に雇用されました。職業訓練学校は、600人以上の学生が卒業し、卒業生の76%は雇用され、8%は進学、5%は自営業に進みました。





---

## 中古衣類／本販売ビジネス (Second Hand Clothes and Shoes/ Books sale) プロジェクト

---

このプロジェクトは、マラウイのDevelopment Aid from People to People (DAPP, Humana People to Peopleのこと。)が実施する、社会プロジェクトを運営するための資金調達（ビジネス）のプロジェクトです。このプロジェクトの収益は、チャイルド・エイド／HOPEなど、他のプロジェクトを運営するための資金へと使われます。

また、同時に、現地の人々に衣類／本などを、現地の人々が購入可能な値段で提供し、彼らが雇用に就く機会も与えます。

マラウイでは、2つのビジネスの方法があります。1つは、ヨーロッパで中古衣類回収を行っているHumana People to Peopleから受け取った服と靴を、中古として現地で販売すること。そして、2つ目は、本を販売することです。

中古本販売のプロジェクトは、2006年12月に開始した、新しいプロジェクトです。当時、DAPPマラウイは、アメリカのHumana People to Peopleから35,000冊の本を受け取り、それを中古本として販売し始めました。小説／教育本／絵本／料理／健康など、たくさんの種類の本があります。

設立当初、このプロジェクトを運営するのは難しい仕事でありました。マラウイでは、本は彼らの日常生活に浸透しておらず、これは彼らが本について知る機会がないことを意味します。それは例えば、「これは小説である」「これは教育本である」というカテゴリーも、彼らの多くは知らないということです。そのため、このプロジェクトを開始したとき、大部分のマラウイのプロジェクトメンバーが、本のカテゴリーと品質を分類することができませんでした。

Tomomi CICD／2006年5月チームのレポートから；

おそらく、皆さんの中には「何でアフリカのマラウイで本を売るビジネスをするの？」と、思う人がいるかもしれません。確かにこのビジネスはマラウイではそう簡単なことではありません。



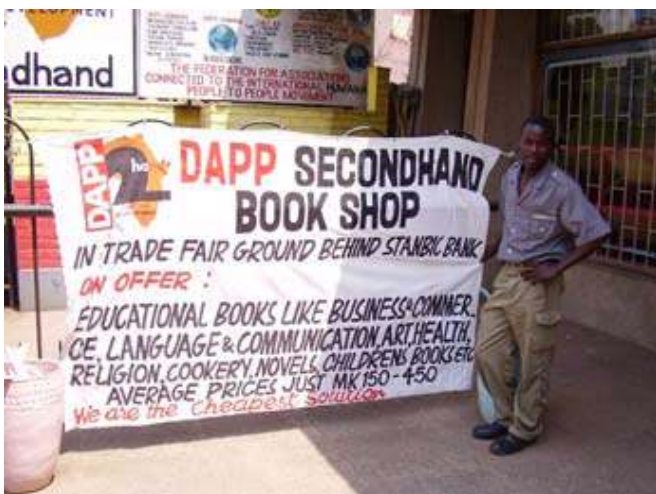
このビジネスの主な目的はもちろん、収益を得てそれで組織と他のプロジェクトを運営することです。だけど、このビジネスが上手に軌道にのったとき、それとは別の効果が表れると思います。マラウイに本を普及するきっかけにもなり、知識を得て教育水準をすこしでも上げることができるのではないかと。私としてはこう考えることもできると思います。

このプロジェクトはビジネスなので、現場支援活動ではなく、農村や村落共同体の人々と密接に関わる仕事ではありません。だけど、仕事を一緒にするのは同じマラウイの人々です。その中で、私は自分と違う国の人々、とくにアフリカのマラウイの人々と一緒に仕事をするという難しさを実感しました。なぜなら私は日本人、彼らはマラウイ人。私達は文化も異なり、育ってきた環境が全く異なります。当然、価値観も全く異なるから仕事をしていて意見があわないことが多かったです。口論になることも少なくなく、お互いを間違っていて理解することもあり、疲れるときも多かったです。自分のコミュニケーションの力不足を強く実感しましたが、同時にその難しさもいつも実感していました。

もし私がビジネスに関する知識や経験をもっていれば、初めてこのプロジェクトで働いたときに、もっと上手にできることは確かだったでしょう。自分の努力だけでは限界があります。この6ヶ月間の期間は、それらを私に実感させてくれたと思います。もちろん、これらのことは当たり前といえば当たり前で、多くの人が知っていることです。だけどそれを知ること、思うことは簡単ですが、実際にわかる、実感するとなると難しいことではないかと私は考えます。

これらを踏まえたうえで今の私に必要なことは、自分の視野を広げ、多くの勉強と経験を積み、次のステップに進むことです。そうした過程を踏まえ自分の夢と目標を突き進める。それは今からしなければいけないことです。そして今、自分が思うことは、これら全てのきっかけを与えてくれたマラウイでの生活、マラウイの人々に改めて感謝すると同時に、マラウイで6ヶ月間、このプロジェクトに参加したことは、自分のとても大きな宝物になったといえます。

(CICD2007年ニュースレター7月号から抜粋)



# プロジェクト詳細 マラウイ



※マラウイには、今回、紹介したプロジェクトの他にも、HIV/AIDS 予防・撲滅運動 [TCE (Total Control of the Epidemic)]、コミュニティ開発 (Farmers Club) プロジェクトがあります。

DAPP マラウイ公式ウェブサイト (英語) [www.dapp-malawi.org/](http://www.dapp-malawi.org/)